

北習志野駅周辺地区 都市再生整備計画事業 事後評価(原案)の概要

地区の概要

対象地区は以下のような地区となっています。

本地区は、市の東部に位置し公園開発による集合住宅を中心に自然発生的な住宅地により形成され、駅周辺には商店街が形成されています。

また、北習志野駅には新京成線・東葉高速鉄道の鉄道2線が乗り入れており、1日の平均乗降客数は約76,000人のターミナル駅となっています。また、高根木戸駅・高根公園駅・船橋日大前駅の1日の平均乗降客数は、それぞれ、約8,600人、約15,000人、約11,000人であり都心への通勤圏として利便性の高い住宅地となっています。



※各事業は右表に対応

- 地区名：北習志野駅周辺地区
- 地区面積：410ha
- 計画期間：平成19年度～平成23年度
- 交付期間：平成19年度～平成23年度

まちづくりの課題

事業実施前には以下のような課題がありました。

本地区は、都心への通勤圏に位置し良好な住宅地が形成されています。各駅周辺には、商店街が形成され周辺居住者等に日々利用されており、**駅利用者や商店街利用者等の快適性の向上や、安全性の確保、さらには、回遊性の向上が課題**となっています。

まちづくりの目標

以下に示す目標に向けたまちづくりを行いました。

「交通が便利で楽しくショッピングができる住宅地の創出」

- 目標1: 歩行者・自転車利用者が安全かつ快適に利用できる施設の整備
- 目標2: 地域の人々が集うにぎわいと交流のある拠点の整備

事業内容

目標達成のために以下の事業を実施しました。

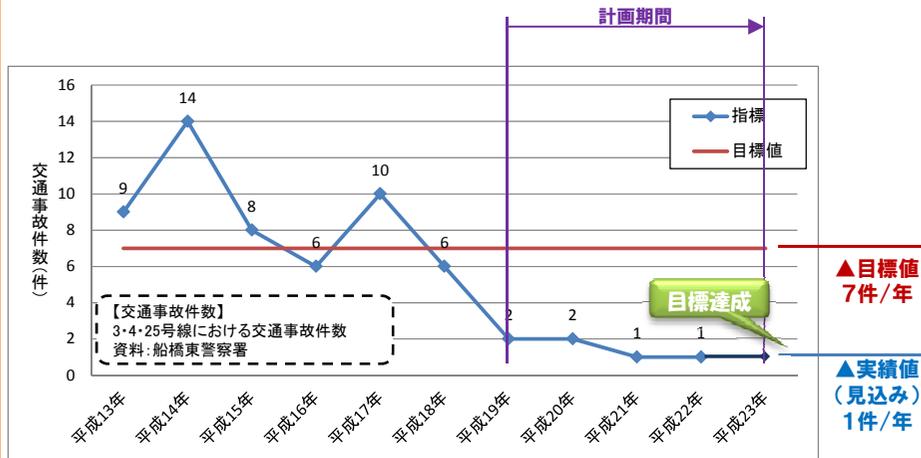
整備方針		実施事業
駅へアクセスする歩道等を整備し歩行者や自転車利用者の安全性や快適性を高めます。	基幹事業	①3・4・25号線道路整備事業 ②市道00-020号線道路整備事業 ③街路樹整備事業
	関連事業	④あんしん歩行エリア形成事業 ⑤交通バリアフリー道路特定事業 ⑥坪井特定土地区画整理事業
既存の歩道橋、駅舎改札、商業ビル、商店街をデッキで接続し連続性のある歩行空間を創出し歩行者の安全性及び快適性を高めます。デッキ及び自由通路にエレベーター・エスカレーター等の歩行支援施設を設置し歩行者の快適性を高めます。	基幹事業	⑦北習志野駅ペDESTリアンデッキ設置事業
	提案事業	
自転車等駐車を整備し駅前広場の歩道部に放置された自転車を減少させ快適な歩行空間を確保します。	基幹事業	⑧北習志野駅駅舎改修事業
	関連事業	⑨高根公園駅自転車等駐車場設置事業
地域の人々が集うにぎわいと交流のある拠点を整備し回遊性等を向上させます。	基幹事業	⑩松が丘4丁目みどり公園設置事業 ⑪北習志野近隣公園防犯対策事業 ⑫船橋市坪井公民館整備事業
	関連事業	⑥坪井特定土地区画整理事業

目標の達成状況

以下の指標により目標の達成状況を評価しました。

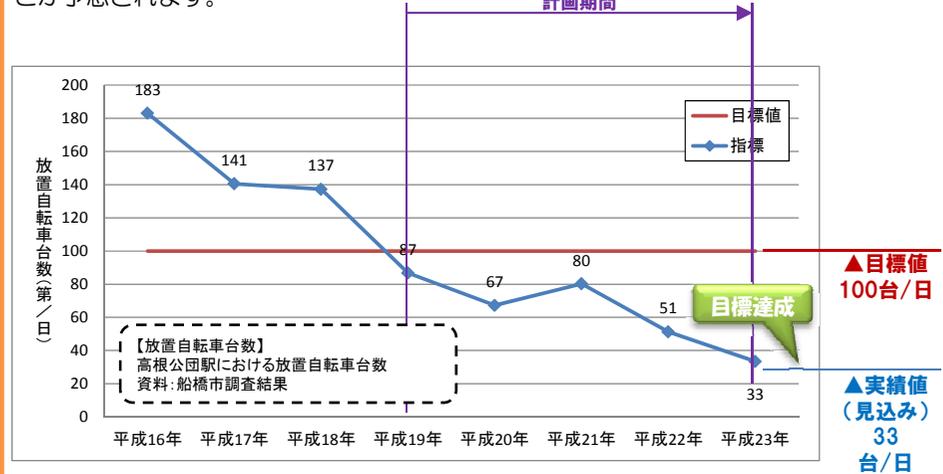
交通事故件数(件/年)

3・4・25号線は整備が完了していませんが、連続した歩行空間の確保や交差点改良が完了したことにより、**対象区間での交通事故件数が大幅に減少**しました。



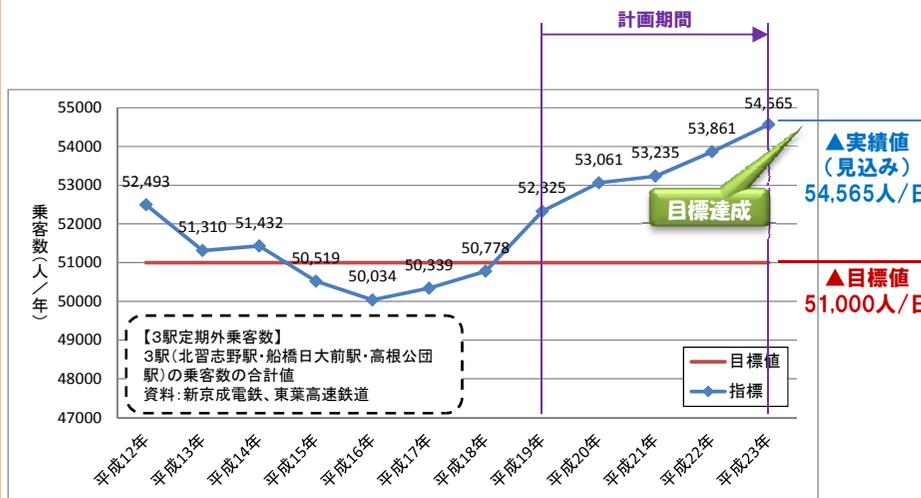
放置自転車台数(台/日)

放置禁止区域の設定や放置自転車の監視強化等により、**放置自転車数が減少**しており、今後、自転車等駐輪場が整備されることにより、放置自転車がさらに減少することが予想されます。



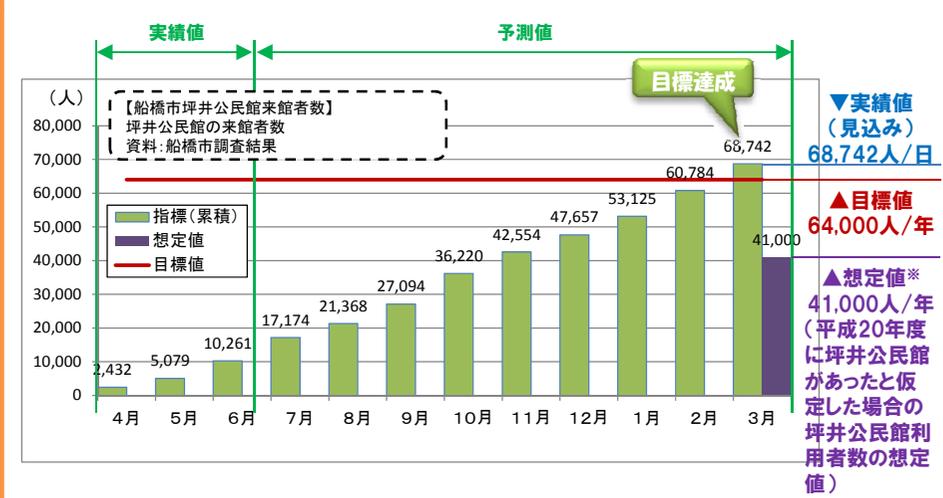
3駅乗客数(人/日)

ペDESTリアンデッキ及び駅舎の整備による駅の利便性向上や、駅周辺の歩行環境(安全性・快適性)の向上を行ったこと、関連事業である土地区画整理事業による居住者の増加等により、**駅の利用者数が大幅に増加**しました。



船橋市坪井公民館来館者数(人/年)

土地区画整理事業により人口が増加している坪井地区において、新たなコミュニティ活動の場となる公民館が新設されたことにより、利用者の利便性等が向上し、**公民館を利用する人が増加**しました。



実施過程の評価

事業の実施にあたっては、以下のような工夫をしています。

「市統計資料等によるモニタリング」(平成21年実施)

- 実施結果
交付期間中の変化を確認することができました。
- 今後の対応方針
モニタリング同様に毎年度の本市統計書により事業の効果を確認します。

「都市計画道路3・4・25号線の整備に関する事業説明会」(平成18年度実施)

- 実施結果
事業の進捗に合わせて事業区間沿線の地権者及び権利者等との意見交換を実施したことにより、事業への理解が深まりました。
- 今後の対応方針
今後も、積極的に市民の意見を聞いて、事業に活かしていきます。

今後のまちづくり方策

評価結果を踏まえ、今後は残された課題や新たに発生した課題に対応するために、以下のような取組を進めます。

■まちの課題の変化

- 北習志野駅のペDESTリアンデッキの整備や駅舎の改築等により、**商業施設へのアクセスや乗り換えの利便性が向上**するとともに、エレベーター等の歩行者支援施設が設置され、**歩行者の安全性・快適性が向上**しました。
- 街路樹の整備により、**歩行者等の快適性が向上**しました。
- 高根公団駅自転車等駐車場の整備により、放置自転車が減少し、歩道上の暫定駐輪場が廃止されたことにより、**快適な歩行空間が確保**されました。
- 交流拠点となる坪井公民館や歩行者等の休息空間となる松が丘4丁目みどり公園の整備と合わせた、夜間の歩行者の安全性を向上する防犯対策等により、**歩行者等の回避性が向上**しました。
- 都市計画道路3・4・25号線と市道00-020号線の歩道整備や交差点改良等により**歩行者等の安全性・快適性が向上**しました。
一方では、新たな住宅地が形成され、周辺部における交通量が増加していることから、今後は歩行者等の安全性や快適性を更に向上するために、歩道未整備区間や都市計画道路の整備が急務となっています。
- 目標値は達成できましたが、都市計画道路の早急な整備等、引き続き住宅地としての質を向上させる施策が必要となります。

■今後のまちづくり方策

- 駅へアクセスする歩道等を整備し**歩行者や自転車利用者の安全性や快適性を高めると共に交通の円滑な処理を図ります。**
- 新たに整備された公民館については、様々なイベントを実施し、公民館の認知度向上を図ることで**地域の人々の交流を促進**します。